

与謝野町 障害者のための サロン
サロンだより



平成27年 5月号

障害者生活支援センター 結
 TEL 0772-44-1566



田植えシーズン到来で、あちこちの田んぼに水が張られ、カエルの鳴き声なんかも聞こえてきて、小さな稲の苗が風にそよぐ今日この頃。皆さんいかがお過ごしですか？ ちょっと外へ散歩にでも出かけたくなるような、気持ちの良い気候が続いていますね。そんなときはサロンに参加してみませんか？皆さんの参加をお待ちしております。

チリコンカンとは？

6/11のサロン昼食はチリコンカン。このチリコンカンとはどんな料理なのでしょう？チリコンカンは、19世紀半ばにメキシコから独立しアメリカ合衆国に併合されたテキサス州南部で発祥したと言われており、テキサス州は「州の料理」に指定され、庶民的な料理としてファーストフード店でも出されています。

挽肉とタマネギを炒め、そこにトマト、チリパウダー、水煮した豆などを加えて煮込んだものが一般的ですが、世界各国で食べられるようになってからは、その国と独自のアレンジを加えて、調理されるようになったそうです。



撮影・イラスト ナミ



5、6月のサロン開催会場と好評！サロンのお昼ごはん簡単メニュー

5月28日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日
ほうれん草とベーコンの Pasta	鶏胸肉の梅マヨネーズ焼き	チリコンカン丼	玉ネギを鶏のやわらか煮	棒々鶏うどん
ふれあいセンター	ふれあいセンター	ふれあいセンター	中央公民館	中央公民館

5/28はすまいるの出張販売があります。

七十二候とは？

5月に入り、夏のような暑い日が続くなど気候の変動も激しい近年ですが、季節を表す名称として二十四節気の他に七十二候という言葉があるのをご存じでしょうか？二十四節気（にじゅうしせっき）は半月毎の季節の変化を示していますが、これをさらに約5日おきに分けて、気象の動きや動植物の変化を知らせるのが七十二候（しちじゅうにこう）です。二十四節気と同じく古代中国で作られ、二十四節気が古代のものがそのまま使われているのに対し、七十二候は何度も変更されてきました。日本でも、江戸時代に入って日本の気候風土に合うように改定され、「本朝七十二候」が作られました。現在主に使われているのは、明治時代に改訂された「略本暦」のもので、この「節気」と「候」からできています。

5月の七十二候は蛙始鳴（かわずはじめてなく）、蚯蚓出（みみずいする）、蚕起食桑（かいこおきてくわをはむ）などの六候があり、気候の変化や動植物の様子が短い文で表されています。普段の暮らしでは目にする機会の少ない事象もありますが、大半はその時期の「兆し」を伝え、繊細な季節のうつろいを感じさせてくれます。七十二候を通じて日本の四季を感じるのも良いですね。



一句

（俳句・川柳披露）

我が家にも 菓作る燕 鳴き交わす
 卯の花腐し 夕飯の 御菜考える
 作 けい子
 作 けい子

* 来室の際はお電話下さい

毎週木曜日（午前10時～午後2時）開催場所が変わります。岩滝ふれあいセンター（1階）もしくは 与謝野町中央公民館（2階）です。